

平成 29 年度 病院事業決算状況

都道府県名 新潟県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	佐渡市	佐渡市立相川病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	堀之内病院	26
-	加茂病院	9	魚沼市	小出病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	28
-	小出病院	11	南魚沼市	南魚沼市民病院	29
-	中央病院	12	湯沢町	湯沢病院	30
-	吉田病院	13	津南町	津南病院	31
-	がんセンター	14	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	32
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	松代病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,669 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	5	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	55	54.7	56.8	69.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	54.7	56.8	69.6
平均在院日数（一般病床のみ）		18.7	20.4	20.0

設立団体の状況		
人口（人）	2,304,264	
決算規模（千円）	995,621,169	
標準財政規模（千円）	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率（%）	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.9
	将来負担比率（%）	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	57.2
修正医業収支金額（千円）	493,850

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	880,020			
1 経常収益	880,020			
(1) 医業収益	522,194			
入院収益	308,613			
外来収益	171,413			
診療収入計	480,026			
その他医業収益	42,168			
(うち他会計負担金)	28,344			
(2) 医業外収益	357,826			
(うち国・都道府県補助金)	219			
(うち他会計補助・負担金)	349,441			
(うち長期前受金戻入)	405			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	879,276			
2 経常費用	877,818			
(1) 医業費用	863,362			
職員給与費	592,654	113.5	55.9	69.4
材料費	64,577	12.4	24.0	17.1
(うち薬品費)	25,328	4.9	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,137	6.0	11.1	5.8
減価償却費	47,500	9.1	9.2	11.6
経費	155,497	29.8	23.2	31.2
(うち委託料)	72,250	13.8	11.2	12.1
研究研修費	1,772			
資産減耗費	1,362			
(2) 医業外費用	14,456			
(うち支払利息)	1,221	0.2	1.7	2.1
(3) 特別損失	1,458			
損益				
経常損益	2,202			
純損益	744			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		98.0	98.0
医業収支比率	60.5		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	42.9		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	72.3		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	42.9		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	57.2		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金（ ）	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	784,372
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	360,618	377,785
資本勘定繰入	18,452	-
計	379,070	377,785

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	50.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	
	病院名	柿崎病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,492 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	55	69.9	68.9	71.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	69.9	68.9	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	21.5	23.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.9
修正医業収支金額(千円)	601,435

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,097,209			
1 経常収益	1,097,209			
(1) 医業収益	632,937			
入院収益	381,133			
外来収益	204,350			
診療収入計	585,483			
その他医業収益	47,454			
(うち他会計負担金)	31,502			
(2) 医業外収益	464,272			
(うち国・都道府県補助金)	430			
(うち他会計補助・負担金)	458,947			
(うち長期前受金戻入)	785			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,098,106			
2 経常費用	1,096,330			
(1) 医業費用	1,075,387			
職員給与費	700,639	110.7	55.9	69.4
材料費	76,615	12.1	24.0	17.1
(うち薬品費)	32,727	5.2	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,856	5.5	11.1	5.8
減価償却費	67,789	10.7	9.2	11.6
経費	226,459	35.8	23.2	31.2
(うち委託料)	82,600	13.1	11.2	12.1
研究研修費	2,367			
資産減耗費	1,518			
(2) 医業外費用	20,943			
(うち支払利息)	3,046	0.5	1.7	2.1
(3) 特別損失	1,776			
損益				
経常損益	879			
純損益	-897			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		98.0	98.0
医業収支比率	58.9		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	44.7		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	77.5		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	44.7		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	55.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	784,372
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	471,672	490,449
資本勘定繰入	48,539	352
計	520,211	490,801

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	津川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	14	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	67	46.8	45.4	46.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	67	46.8	45.4	46.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.4	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.5
修正医業収支金額(千円)	633,409

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,235,645			
1 経常収益	1,235,645			
(1) 医業収益	685,762			
入院収益	364,116			
外来収益	257,149			
診療収入計	621,265			
その他医業収益	64,497			
(うち他会計負担金)	52,353			
(2) 医業外収益	549,883			
(うち国・都道府県補助金)	333			
(うち他会計補助・負担金)	542,816			
(うち長期前受金戻入)	881			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,230,975			
2 経常費用	1,229,104			
(1) 医業費用	1,207,196			
職員給与費	754,604	110.0	55.9	69.4
材料費	75,247	11.0	24.0	17.1
(うち薬品費)	31,562	4.6	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,330	5.2	11.1	5.8
減価償却費	69,677	10.2	9.2	11.6
経費	298,957	43.6	23.2	31.2
(うち委託料)	102,786	15.0	11.2	12.1
研究研修費	2,785			
資産減耗費	5,926			
(2) 医業外費用	21,908			
(うち支払利息)	3,235	0.5	1.7	2.1
(3) 特別損失	1,871			
損益				
経常損益	6,541			
純損益	4,670			
累積欠損金	28,546			
経常収支比率	100.5		98.0	98.0
医業収支比率	56.8		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	48.2		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	86.8		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	48.2		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	52.1		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	573,890	595,169
資本勘定繰入	56,720	7,268
計	630,610	602,437

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	妙高病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,084 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	60	76.4	71.7	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	76.4	71.7	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	23.4	24.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.2
修正医業収支金額(千円)	712,620

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,140,820			
1 経常収益	1,140,820			
(1) 医業収益	742,926			
入院収益	440,416			
外来収益	255,792			
診療収入計	696,208			
その他医業収益	46,718			
(うち他会計負担金)	30,306			
(2) 医業外収益	397,894			
(うち国・都道府県補助金)	288			
(うち他会計補助・負担金)	393,478			
(うち長期前受金戻入)	1,110			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,131,400			
2 経常費用	1,129,295			
(1) 医業費用	1,109,673			
職員給与費	749,245	100.9	55.9	69.4
材料費	94,844	12.8	24.0	17.1
(うち薬品費)	43,801	5.9	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,753	5.2	11.1	5.8
減価償却費	55,496	7.5	9.2	11.6
経費	205,575	27.7	23.2	31.2
(うち委託料)	87,750	11.8	11.2	12.1
研究研修費	2,311			
資産減耗費	2,202			
(2) 医業外費用	19,622			
(うち支払利息)	3,152	0.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	2,105			
損益				
経常損益	11,525			
純損益	9,420			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		98.0	98.0
医業収支比率	66.9		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	37.1		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	57.0		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	37.1		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	63.5		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	403,483	423,784
資本勘定繰入	49,392	1,663
計	452,875	425,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	リウマチセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,303 m ²	指定病院の状況			
診療科数	2	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	100	79.9	73.6	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	79.9	73.6	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.8	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,289,944			
1 経常収益	2,289,944			
(1) 医業収益	1,784,702			
入院収益	1,214,085			
外来収益	539,652			
診療収入計	1,753,737			
その他医業収益	30,965			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	505,242			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	389,600			
(うち長期前受金戻入)	107,462			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,237,468			
2 経常費用	2,232,197			
(1) 医業費用	2,205,904			
職員給与費	1,131,169	63.4	55.9	59.8
材料費	649,469	36.4	24.0	17.7
(うち薬品費)	529,986	29.7	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,978	5.4	11.1	8.0
減価償却費	152,520	8.5	9.2	10.4
経費	257,455	14.4	23.2	31.2
(うち委託料)	129,384	7.2	11.2	12.8
研究研修費	12,681			
資産減耗費	2,610			
(2) 医業外費用	26,293			
(うち支払利息)	2,773	0.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	5,271			
損益				
経常損益	57,747			
純損益	52,476			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		98.0	96.3
医業収支比率	80.9		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	21.8		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	85.1		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.9
修正医業収支金額(千円)	1,784,702

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	358,043	389,600
資本勘定繰入	35,028	-
計	393,071	389,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	坂町病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	148	85.9	89.1	94.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	85.9	89.1	94.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.6	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,992,086			
1 経常収益	2,992,086			
(1) 医業収益	2,451,039			
入院収益	1,534,034			
外来収益	800,019			
診療収入計	2,334,053			
その他医業収益	116,986			
(うち他会計負担金)	60,500			
(2) 医業外収益	541,047			
(うち国・都道府県補助金)	940			
(うち他会計補助・負担金)	526,198			
(うち長期前受金戻入)	1,739			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,976,125			
2 経常費用	2,969,065			
(1) 医業費用	2,880,771			
職員給与費	1,701,339	69.4	55.9	59.8
材料費	517,351	21.1	24.0	17.7
(うち薬品費)	261,909	10.7	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	226,822	9.3	11.1	8.0
減価償却費	138,448	5.6	9.2	10.4
経費	510,873	20.8	23.2	31.2
(うち委託料)	190,739	7.8	11.2	12.8
研究研修費	6,261			
資産減耗費	6,499			
(2) 医業外費用	88,294			
(うち支払利息)	51,421	2.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	7,060			
損益				
経常損益	23,021			
純損益	15,961			
累積欠損金	6,099,075			
経常収支比率	100.8		98.0	96.3
医業収支比率	85.1		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.6		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	19.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	81.0		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.0
修正医業収支金額(千円)	2,390,539

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	536,286	586,698
資本勘定繰入	170,085	2,745
計	706,371	589,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	六日町病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	41.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	41.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,967,357			
経常収支比率	-		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	-		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	13,972	-
資本勘定繰入	79,077	-
計	93,049	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	
	病院名	加茂病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,992 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	150	52.1	53.5	53.5
療養	30	42.6	56.5	62.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	50.5	54.0	55.0
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	22.2	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.0
修正医業収支金額(千円)	1,486,463

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,751,583			
1 経常収益	1,751,583			
(1) 医業収益	1,561,758			
入院収益	945,628			
外来収益	493,823			
診療収入計	1,439,451			
その他医業収益	122,307			
(うち他会計負担金)	75,295			
(2) 医業外収益	189,825			
(うち国・都道府県補助金)	322			
(うち他会計補助・負担金)	144,419			
(うち長期前受金戻入)	29,787			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,476,341			
2 経常費用	2,471,951			
(1) 医業費用	2,435,496			
職員給与費	1,577,753	101.0	55.9	59.8
材料費	394,974	25.3	24.0	17.7
(うち薬品費)	266,007	17.0	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	109,658	7.0	11.1	8.0
減価償却費	97,688	6.3	9.2	10.4
経費	355,764	22.8	23.2	31.2
(うち委託料)	157,066	10.1	11.2	12.8
研究研修費	5,381			
資産減耗費	3,936			
(2) 医業外費用	36,455			
(うち支払利息)	7,276	0.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	4,390			
損益				
経常損益	-720,368			
純損益	-724,758			
累積欠損金	15,309,887			
経常収支比率	70.9		98.0	96.3
医業収支比率	64.1		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	62.0		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	784,372
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	179,331	219,714
資本勘定繰入	72,754	59,735
計	252,085	279,449

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	十日町病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,664 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
診療科数	15	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	275	78.6	73.5	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	275	78.6	73.5	71.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	19.9	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.8
修正医業収支金額(千円)	4,368,830

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,056,482			
1 経常収益	5,056,482			
(1) 医業収益	4,485,734			
入院収益	3,139,571			
外来収益	1,168,513			
診療収入計	4,308,084			
その他医業収益	177,650			
(うち他会計負担金)	116,904			
(2) 医業外収益	570,748			
(うち国・都道府県補助金)	4,463			
(うち他会計補助・負担金)	367,839			
(うち長期前受金戻入)	174,784			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,678,728			
2 経常費用	5,665,825			
(1) 医業費用	5,543,106			
職員給与費	3,019,724	67.3	55.9	59.2
材料費	1,047,307	23.3	24.0	19.6
(うち薬品費)	531,237	11.8	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	466,828	10.4	11.1	9.2
減価償却費	520,632	11.6	9.2	10.4
経費	939,188	20.9	23.2	27.3
(うち委託料)	400,299	8.9	11.2	11.8
研究研修費	12,712			
資産減耗費	3,543			
(2) 医業外費用	122,719			
(うち支払利息)	28,253	0.6	1.7	1.8
(3) 特別損失	12,903			
損益				
経常損益	-609,343			
純損益	-622,246			
累積欠損金	2,283,486			
経常収支比率	89.2		98.0	96.1
医業収支比率	80.9		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	80.7		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	397,346	484,743
資本勘定繰入	261,019	100,216
計	658,365	584,959

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	小出病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	6,105 m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	66.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	19.7
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	50.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	56.9
材料費	-	-	24.0	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.7
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	21.8
(うち委託料)	-	-	11.2	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	666,610			
経常収支比率	-		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	-		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	9,537	-
資本勘定繰入	136,802	-
計	146,339	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,305 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	524	86.3	83.5	83.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	530	85.4	82.6	82.2
平均在院日数（一般病床のみ）		14.1	14.2	14.4

設立団体の状況		
人口（人）	2,304,264	
決算規模（千円）	995,621,169	
標準財政規模（千円）	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率（%）	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.9
	将来負担比率（%）	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	94.4
修正医業収支金額（千円）	14,799,107

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,197,798			
1 経常収益	17,197,798			
(1) 医業収益	15,212,436			
入院収益	9,769,693			
外来収益	4,816,207			
診療収入計	14,585,900			
その他医業収益	626,536			
(うち他会計負担金)	413,329			
(2) 医業外収益	1,985,362			
(うち国・都道府県補助金)	22,430			
(うち他会計補助・負担金)	1,176,004			
(うち長期前受金戻入)	677,466			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,219,394			
2 経常費用	16,175,688			
(1) 医業費用	15,673,677			
職員給与費	7,755,342	51.0	55.9	50.2
材料費	4,900,937	32.2	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,649,617	17.4	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,154,892	14.2	11.1	12.9
減価償却費	988,994	6.5	9.2	8.3
経費	1,968,947	12.9	23.2	20.7
(うち委託料)	919,063	6.0	11.2	11.4
研究研修費	36,559			
資産減耗費	22,898			
(2) 医業外費用	502,011			
(うち支払利息)	320,559	2.1	1.7	1.5
(3) 特別損失	43,706			
損益				
経常損益	1,022,110			
純損益	978,404			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.3		98.0	99.7
医業収支比率	97.1		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	96.5		85.9	90.3

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金（ ）	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	784,372
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,279,884	1,589,333
資本勘定繰入	1,031,010	881,802
計	2,310,894	2,471,135

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	50.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	吉田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,771 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	199	44.5	48.0	51.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	44.5	48.0	51.0
平均在院日数（一般病床のみ）		15.0	15.3	15.9

設立団体の状況		
人口（人）	2,304,264	
決算規模（千円）	995,621,169	
標準財政規模（千円）	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率（%）	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.9
	将来負担比率（%）	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	64.9
修正医業収支金額（千円）	2,438,735

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,065,373			
1 経常収益	3,065,373			
(1) 医業収益	2,545,880			
入院収益	1,179,289			
外来収益	1,199,309			
診療収入計	2,378,598			
その他医業収益	167,282			
(うち他会計負担金)	107,145			
(2) 医業外収益	519,493			
(うち国・都道府県補助金)	234			
(うち他会計補助・負担金)	445,261			
(うち長期前受金戻入)	44,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,960,851			
2 経常費用	3,953,649			
(1) 医業費用	3,758,653			
職員給与費	2,268,824	89.1	55.9	59.8
材料費	609,444	23.9	24.0	17.7
(うち薬品費)	355,617	14.0	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	234,572	9.2	11.1	8.0
減価償却費	205,175	8.1	9.2	10.4
経費	657,981	25.8	23.2	31.2
(うち委託料)	286,779	11.3	11.2	12.8
研究研修費	11,362			
資産減耗費	5,867			
(2) 医業外費用	194,996			
(うち支払利息)	10,750	0.4	1.7	1.8
(3) 特別損失	7,202			
損益				
経常損益	-888,276			
純損益	-895,478			
累積欠損金	11,932,734			
経常収支比率	77.5		98.0	96.3
医業収支比率	67.7		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	21.7		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	18.0		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	63.6		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金（ ）	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	784,372
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	491,934	552,406
資本勘定繰入	106,078	32,602
計	598,012	585,008

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	50.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	
	病院名	がんセンター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	31,173 m ²	指定病院の状況	救臨が 輪
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	450	76.7	76.9	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	76.7	76.9	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.9	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収支金額(千円)	14,290,672

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,036,641			
1 経常収益	16,036,641			
(1) 医業収益	14,511,710			
入院収益	7,849,027			
外来収益	6,029,893			
診療収入計	13,878,920			
その他医業収益	632,790			
(うち他会計負担金)	221,038			
(2) 医業外収益	1,524,931			
(うち国・都道府県補助金)	15,028			
(うち他会計補助・負担金)	1,398,039			
(うち長期前受金戻入)	40,431			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,675,839			
2 経常費用	15,633,634			
(1) 医業費用	15,382,454			
職員給与費	6,615,086	45.6	55.9	55.2
材料費	5,864,458	40.4	24.0	25.7
(うち薬品費)	4,312,290	29.7	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,472,991	10.2	11.1	12.3
減価償却費	817,608	5.6	9.2	8.5
経費	1,844,115	12.7	23.2	19.0
(うち委託料)	1,092,299	7.5	11.2	9.1
研究研修費	220,439			
資産減耗費	20,748			
(2) 医業外費用	251,180			
(うち支払利息)	34,283	0.2	1.7	1.6
(3) 特別損失	42,205			
損益				
経常損益	403,007			
純損益	360,802			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		98.0	98.4
医業収支比率	94.3		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	92.2		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	784,372
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,431,256	1,619,077
資本勘定繰入	407,876	4,947
計	1,839,132	1,624,024

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	新発田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,233 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	429	89.8	88.4	92.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	45	52.4	57.3	64.5
感染症	4	-	-	-
計	478	85.5	84.7	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.3	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.4
修正医業収支金額(千円)	12,623,294

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,549,463			
1 経常収益	15,549,463			
(1) 医業収益	13,037,064			
入院収益	8,648,449			
外来収益	3,741,954			
診療収入計	12,390,403			
その他医業収益	646,661			
(うち他会計負担金)	413,770			
(2) 医業外収益	2,512,399			
(うち国・都道府県補助金)	18,794			
(うち他会計補助・負担金)	1,748,362			
(うち長期前受金戻入)	625,633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,482,742			
2 経常費用	15,445,461			
(1) 医業費用	14,773,797			
職員給与費	7,396,095	56.7	55.9	55.2
材料費	3,923,870	30.1	24.0	25.7
(うち薬品費)	2,036,639	15.6	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,797,470	13.8	11.1	12.3
減価償却費	1,192,345	9.1	9.2	8.5
経費	2,211,938	17.0	23.2	19.0
(うち委託料)	1,055,740	8.1	11.2	9.1
研究研修費	30,421			
資産減耗費	19,128			
(2) 医業外費用	671,664			
(うち支払利息)	335,597	2.6	1.7	1.6
(3) 特別損失	37,281			
損益				
経常損益	104,002			
純損益	66,721			
累積欠損金	788,337			
経常収支比率	100.7		98.0	98.4
医業収支比率	88.2		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	86.7		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,803,388	2,162,132
資本勘定繰入	662,482	587,252
計	2,465,870	2,749,384

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,496 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	40.3	39.3	40.8
感染症	-	-	-	-
計	400	40.3	39.3	40.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	41.4
修正医業収支金額(千円)	1,272,976

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,203,821			
1 経常収益	3,203,821			
(1) 医業収益	1,272,976			
入院収益	1,034,599			
外来収益	225,507			
診療収入計	1,260,106			
その他医業収益	12,870			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,930,845			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,873,163			
(うち長期前受金戻入)	16,222			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,233,609			
2 経常費用	3,229,850			
(1) 医業費用	3,071,519			
職員給与費	2,249,062	176.7	55.9	94.3
材料費	139,588	11.0	24.0	8.8
(うち薬品費)	71,757	5.6	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,020	1.6	11.1	1.1
減価償却費	228,186	17.9	9.2	12.6
経費	446,919	35.1	23.2	33.3
(うち委託料)	179,789	14.1	11.2	16.0
研究研修費	6,108			
資産減耗費	1,656			
(2) 医業外費用	158,331			
(うち支払利息)	104,467	8.2	1.7	3.4
(3) 特別損失	3,759			
損益				
経常損益	-26,029			
純損益	-29,788			
累積欠損金	52,656			
経常収支比率	99.2		98.0	100.2
医業収支比率	41.4		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	58.5		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	147.1		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	58.5		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	41.2		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	784,372
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,764,596	1,873,163
資本勘定繰入	260,317	1,663
計	2,024,913	1,874,826

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	
	病院名	魚沼基幹病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	33,549 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	29年度	28年度	27年度
一 般	400	88.2	87.0	78.5
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	50	74.7	71.6	61.0
感 染 症	4	-	-	5.9
計	454	84.9	83.5	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.9	11.4

設立団体の状況		
人 口(人)	2,304,264	
決 算 規 模(千円)	995,621,169	
標 準 財 政 規 模(千円)	558,840,431	
財 政 力 指 数	0.46103	
経 常 収 支 比 率(%)	96.4	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.9
修正医業収支金額(千円)	34,369

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	3,738,615			
1 経 常 収 益	3,738,615			
(1) 医 業 収 益	338,713			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	338,713			
(うち他会計負担金)	304,344			
(2) 医 業 外 収 益	3,399,902			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,670,674			
(うち長期前受金戻入)	1,717,951			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	3,860,652			
2 経 常 費 用	3,860,652			
(1) 医 業 費 用	3,729,167			
職 員 給 与 費	-	-	55.9	55.2
材 料 費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減 価 償 却 費	1,839,813	543.2	9.2	8.5
経 費	1,889,354	557.8	23.2	19.0
(うち委託料)	34,664	10.2	11.2	9.1
研 究 研 修 費	-	-	-	-
資 産 減 耗 費	-	-	-	-
(2) 医 業 外 費 用	131,485			
(うち支払利息)	117,992	34.8	1.7	1.6
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-122,037			
純 損 益	-122,037			
累 積 欠 損 金	601,192			
経 常 収 支 比 率	96.8		98.0	98.4
医 業 収 支 比 率	9.1		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	52.8		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	583.1		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	52.8		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	45.7		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	92,865,950
1 固 定 資 産	79,488,758
(1) 有 形 固 定 資 産	75,181,885
(2) 無 形 固 定 資 産	36,662
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	4,270,211
2 流 動 資 産	13,377,192
(1) 現 金 及 び 預 金	3,215,300
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	9,971,342
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	246,840
(4) 貯 蔵 品	275,957
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	93,650,322
1 固 定 負 債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	3,289,179
(7) リ ー ス 債 務	283,714
2 流 動 負 債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	2,184,139
(6) リ ー ス 債 務	153,714
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	10,291,084
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	15,894,604
(1) 長 期 前 受 金	24,760,991
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	8,866,387
資 本 合 計	-784,372
1 資 本 金	28,989,019
2 剰 余 金	-29,773,391
(1) 資 本 剰 余 金	492,092
(2) 利 益 剰 余 金	-30,265,483
負 債 ・ 資 本 合 計	92,865,950
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	784,372
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	1,828,276	1,975,018
資 本 勘 定 繰 入	376,356	691,711
計	2,204,632	2,666,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-
27 年 度	193,031	0.3

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	県央基幹病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	-
材料費	-	-	24.0	-
(うち薬品費)	-	-	12.4	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	-
減価償却費	-	-	9.2	-
経費	-	-	23.2	-
(うち委託料)	-	-	11.2	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.7	-
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.0	104.5
医業収支比率	-		88.4	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	100.0
実質収益対経常費用比率	-		85.9	-

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	784,372
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	1,281	1,921
計	1,281	1,921

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	燕労災病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	995,621,169	
標準財政規模(千円)	558,840,431	
財政力指数	0.46103	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	315.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	74,882			
1 経常収益	74,882			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	74,882			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	74,882			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	74,882			
2 経常費用	74,882			
(1) 医業費用	6,251			
職員給与費	-	-	55.9	-
材料費	-	-	24.0	-
(うち薬品費)	-	-	12.4	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	-
減価償却費	-	-	9.2	-
経費	6,251	-	23.2	-
(うち委託料)	6,000	-	11.2	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	68,631			
(うち支払利息)	-	-	1.7	-
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	104.5
医業収支比率	-		88.4	-
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.4	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	-
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	100.0
実質収益対経常費用比率	-		85.9	-

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	92,865,950
1 固定資産	79,488,758
(1) 有形固定資産	75,181,885
(2) 無形固定資産	36,662
(3) 投資その他の資産	4,270,211
2 流動資産	13,377,192
(1) 現金及び預金	3,215,300
(2) 未収金及び未収収益	9,971,342
(3) 貸倒引当金()	246,840
(4) 貯蔵品	275,957
3 繰延資産	-
負債合計	93,650,322
1 固定負債	58,135,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,562,328
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,289,179
(7) リース債務	283,714
2 流動負債	19,620,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,583,560
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,184,139
(6) リース債務	153,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,291,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,894,604
(1) 長期前受金	24,760,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,866,387
資本合計	-784,372
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-29,773,391
(1) 資本金剰余金	492,092
(2) 利益剰余金	-30,265,483
負債・資本合計	92,865,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	784,372
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	74,882
資本勘定繰入	383	766
計	383	75,648

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	新潟市
	病院名	新潟市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	58,109 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	35	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	652	89.7	92.3	92.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	67.3	60.3	69.1
感染症	8	0.2	0.6	0.3
計	676	88.1	90.5	91.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.1	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	810,157	
決算規模(千円)	403,936,780	
標準財政規模(千円)	226,767,037	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	146.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,648,701			
1 経常収益	24,622,339			
(1) 医業収益	21,498,455			
入院収益	15,264,562			
外来収益	4,934,992			
診療収入計	20,199,554			
その他医業収益	1,298,901			
(うち他会計負担金)	826,701			
(2) 医業外収益	3,123,884			
(うち国・都道府県補助金)	44,098			
(うち他会計補助・負担金)	1,641,656			
(うち長期前受金戻入)	1,120,837			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,362			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,662,667			
2 経常費用	24,658,268			
(1) 医業費用	23,324,765			
職員給与費	9,900,725	46.1	55.9	50.2
材料費	6,429,055	29.9	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,870,809	13.4	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,558,246	16.6	11.1	12.9
減価償却費	2,108,961	9.8	9.2	8.3
経費	4,788,647	22.3	23.2	20.7
(うち委託料)	2,140,948	10.0	11.2	11.4
研究研修費	87,495			
資産減耗費	9,882			
(2) 医業外費用	1,333,503			
(うち支払利息)	437,544	2.0	1.7	1.5
(3) 特別損失	4,399			
損益				
経常損益	-35,929			
純損益	-13,966			
累積欠損金	1,789,376			
経常収支比率	99.9		98.0	99.7
医業収支比率	92.2		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	11.5		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	89.8		85.9	90.3

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,115,154
1 固定資産	22,585,722
(1) 有形固定資産	21,842,403
(2) 無形固定資産	31,217
(3) 投資その他の資産	712,102
2 流動資産	13,529,432
(1) 現金及び預金	9,838,147
(2) 未収金及び未収収益	3,629,807
(3) 貸倒引当金()	20,832
(4) 貯蔵品	74,380
3 繰延資産	-
負債合計	30,589,577
1 固定負債	25,992,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,469,331
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,426,404
(7) リース債務	96,875
2 流動負債	4,008,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,571,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	601,965
(6) リース債務	64,632
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,674,713
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	588,137
(1) 長期前受金	9,258,330
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,670,193
資本合計	5,525,577
1 資本金	7,307,820
2 剰余金	-1,782,243
(1) 資本金剰余金	7,133
(2) 利益剰余金	-1,789,376
負債・資本合計	36,115,154
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収支金額(千円)	20,671,754

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,468,357	2,468,357
資本勘定繰入	1,077,243	1,077,243
計	3,545,600	3,545,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	見附市
	病院名	見附市立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	94	84.3	76.8	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	84.3	76.8	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.0	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	40,608	
決算規模(千円)	19,649,503	
標準財政規模(千円)	9,571,280	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	119.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,150 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.5
修正医業収支金額(千円)	2,111,591

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,472,597			
1 経常収益	2,470,101			
(1) 医業収益	2,147,885			
入院収益	865,930			
外来収益	714,537			
診療収入計	1,580,467			
その他医業収益	567,418			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	322,216			
(うち国・都道府県補助金)	398			
(うち他会計補助・負担金)	278,706			
(うち長期前受金戻入)	33,871			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,496			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,530,684			
2 経常費用	2,529,961			
(1) 医業費用	2,441,073			
職員給与費	1,420,438	66.1	55.9	69.4
材料費	521,997	24.3	24.0	17.1
(うち薬品費)	435,432	20.3	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,652	2.1	11.1	5.8
減価償却費	131,995	6.1	9.2	11.6
経費	349,032	16.3	23.2	31.2
(うち委託料)	175,832	8.2	11.2	12.1
研究研修費	17,140			
資産減耗費	471			
(2) 医業外費用	88,888			
(うち支払利息)	19,257	0.9	1.7	2.1
(3) 特別損失	723			
損益				
経常損益	-59,860			
純損益	-58,087			
累積欠損金	1,116,407			
経常収支比率	97.6		98.0	98.0
医業収支比率	88.0		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	85.2		85.9	75.8

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,652,940
1 固定資産	1,887,910
(1) 有形固定資産	1,875,307
(2) 無形固定資産	12,603
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	765,030
(1) 現金及び預金	176,637
(2) 未収金及び未収収益	568,456
(3) 貸倒引当金()	341
(4) 貯蔵品	20,277
3 繰延資産	-
負債合計	2,503,195
1 固定負債	1,194,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	557,483
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	588,805
(7) リース債務	47,757
2 流動負債	418,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,057
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,430
(6) リース債務	18,158
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	202,071
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	890,737
(1) 長期前受金	1,895,351
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,004,614
資本合計	149,745
1 資本金	1,252,245
2 剰余金	-1,102,500
(1) 資本金剰余金	13,907
(2) 利益剰余金	-1,116,407
負債・資本合計	2,652,940
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,128	315,000
資本勘定繰入	64,000	64,000
計	289,128	379,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	上越市
	病院名	上越地域医療センター病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,956 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	142	81.1	80.4	81.0
療養	55	81.1	84.1	84.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	81.1	81.4	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	21.5	26.3

設立団体の状況		
人口(人)	196,987	
決算規模(千円)	109,458,074	
標準財政規模(千円)	56,426,754	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	91.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	2,249,283

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,587,911			
1 経常収益	2,587,911			
(1) 医業収益	2,249,283			
入院収益	1,718,016			
外来収益	469,495			
診療収入計	2,187,511			
その他医業収益	61,772			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	338,628			
(うち国・都道府県補助金)	1,155			
(うち他会計補助・負担金)	213,429			
(うち長期前受金戻入)	120,534			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,586,590			
2 経常費用	2,583,760			
(1) 医業費用	2,502,339			
職員給与費	2,154	0.1	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	182,449	8.1	9.2	10.4
経費	2,317,091	103.0	23.2	31.2
(うち委託料)	2,135,559	94.9	11.2	12.8
研究研修費	-			
資産減耗費	645			
(2) 医業外費用	81,421			
(うち支払利息)	18,323	0.8	1.7	1.8
(3) 特別損失	2,830			
損益				
経常損益	4,151			
純損益	1,321			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		98.0	96.3
医業収支比率	89.9		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	91.9		85.9	81.0

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,352,522
1 固定資産	2,657,412
(1) 有形固定資産	2,648,669
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	8,743
2 流動資産	1,695,110
(1) 現金及び預金	1,332,157
(2) 未収金及び未収収益	383,151
(3) 貸倒引当金()	20,198
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,686,793
1 固定負債	1,786,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,383,931
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	402,460
(7) リース債務	-
2 流動負債	370,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,057
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,650
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	101,294
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	530,401
(1) 長期前受金	2,410,850
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,880,449
資本合計	1,665,729
1 資本金	-
2 剰余金	1,665,729
(1) 資本剰余金	1,052,000
(2) 利益剰余金	613,729
負債・資本合計	4,352,522
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,813	213,429
資本勘定繰入	86,468	86,468
計	296,281	299,897

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	阿賀野市
	病院名	あがの市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,192 m ²	指定病院の状況	輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	196	70.9	67.7	51.3
療養	54	68.0	55.5	65.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	70.2	65.1	53.6
平均在院日数(一般病床のみ)		27.1	22.9	26.6

設立団体の状況		
人口(人)	43,415	
決算規模(千円)	21,329,524	
標準財政規模(千円)	12,855,984	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	154.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	702,490			
1 経常収益	702,490			
(1) 医業収益	8,894			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	8,894			
(うち他会計負担金)	8,894			
(2) 医業外収益	693,596			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	274,520			
(うち長期前受金戻入)	154,259			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,138,623			
2 経常費用	952,109			
(1) 医業費用	899,531			
職員給与費	4,206	47.3	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	611,084	6870.7	9.2	10.4
経費	284,241	3195.9	23.2	27.3
(うち委託料)	249,940	2810.2	11.2	11.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	52,578			
(うち支払利息)	47,773	537.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	186,514			
損益				
経常損益	-249,619			
純損益	-436,133			
累積欠損金	6,819,018			
経常収支比率	73.8		98.0	96.1
医業収支比率	1.0		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.3		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	3186.6		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	40.3		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	44.0		85.9	83.2

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,920,517
1 固定資産	8,700,722
(1) 有形固定資産	8,700,190
(2) 無形固定資産	532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	219,795
(1) 現金及び預金	187,534
(2) 未収金及び未収収益	32,261
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,291,526
1 固定負債	5,194,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,194,700
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	79,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,434
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	287
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,320
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,017,771
(1) 長期前受金	1,457,197
(2) 長期前受金収益化累計額()	439,426
資本合計	2,628,991
1 資本金	8,018,009
2 剰余金	-5,389,018
(1) 資本金剰余金	1,430,000
(2) 利益剰余金	-6,819,018
負債・資本合計	8,920,517
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	58,051	283,414
資本勘定繰入	255,480	271,912
計	313,531	555,326

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76669.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	佐渡市
	病院名	佐渡市立両津病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,097 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	99	53.6	52.1	51.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	53.6	52.1	51.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	16.9	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	57,255	
決算規模(千円)	47,456,918	
標準財政規模(千円)	27,159,078	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	128.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.3
修正医業収支金額(千円)	1,167,040

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,366,909			
1 経常収益	1,366,909			
(1) 医業収益	1,225,425			
入院収益	504,908			
外来収益	619,278			
診療収入計	1,124,186			
その他医業収益	101,239			
(うち他会計負担金)	58,385			
(2) 医業外収益	141,484			
(うち国・都道府県補助金)	9,439			
(うち他会計補助・負担金)	100,254			
(うち長期前受金戻入)	8,550			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,424,435			
2 経常費用	1,424,435			
(1) 医業費用	1,383,965			
職員給与費	659,617	53.8	55.9	69.4
材料費	317,462	25.9	24.0	17.1
(うち薬品費)	238,529	19.5	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,298	5.7	11.1	5.8
減価償却費	68,199	5.6	9.2	11.6
経費	335,664	27.4	23.2	31.2
(うち委託料)	129,218	10.5	11.2	12.1
研究研修費	2,201			
資産減耗費	822			
(2) 医業外費用	40,470			
(うち支払利息)	45	-	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-57,526			
純損益	-57,526			
累積欠損金	2,258,702			
経常収支比率	96.0		98.0	98.0
医業収支比率	88.5		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	11.6		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	84.8		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,230,033
1 固定資産	1,112,230
(1) 有形固定資産	1,104,908
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	6,157
2 流動資産	1,117,803
(1) 現金及び預金	880,207
(2) 未収金及び未収収益	226,832
(3) 貸倒引当金()	691
(4) 貯蔵品	11,399
3 繰延資産	-
負債合計	252,987
1 固定負債	10,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	10,309
2 流動負債	176,761
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,197
(6) リース債務	2,748
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,148
(9) 前受金及び前受収益	102
3 繰延収益	65,917
(1) 長期前受金	253,532
(2) 長期前受金収益化累計額()	187,615
資本合計	1,977,046
1 資本金	4,624,378
2 剰余金	-2,647,332
(1) 資本金剰余金	711,091
(2) 利益剰余金	-3,358,423
負債・資本合計	2,230,033
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,326	158,639
資本勘定繰入	5,098	10,095
計	163,424	168,734

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	208.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	佐渡市
	病院名	佐渡市立相川病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	52	82.0	86.9	86.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	82.0	86.9	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,740 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	1	看護配置	25:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

設立団体の状況		
人口(人)	57,255	
決算規模(千円)	47,456,918	
標準財政規模(千円)	27,159,078	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	128.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.8
修正医業収支金額(千円)	349,551

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	453,694			
1 経常収益	453,694			
(1) 医業収益	387,542			
入院収益	221,663			
外来収益	108,960			
診療収入計	330,623			
その他医業収益	56,919			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	66,152			
(うち国・都道府県補助金)	64			
(うち他会計補助・負担金)	59,329			
(うち長期前受金戻入)	589			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	535,006			
2 経常費用	535,006			
(1) 医業費用	523,368			
職員給与費	302,561	78.1	55.9	69.4
材料費	46,726	12.1	24.0	17.1
(うち薬品費)	20,973	5.4	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,753	6.6	11.1	5.8
減価償却費	33,654	8.7	9.2	11.6
経費	139,444	36.0	23.2	31.2
(うち委託料)	59,695	15.4	11.2	12.1
研究研修費	900			
資産減耗費	83			
(2) 医業外費用	11,638			
(うち支払利息)	4	-	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-81,312			
純損益	-81,312			
累積欠損金	1,099,721			
経常収支比率	84.8		98.0	98.0
医業収支比率	74.0		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.5		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.1		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	21.5		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	66.6		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,230,033
1 固定資産	1,112,230
(1) 有形固定資産	1,104,908
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	6,157
2 流動資産	1,117,803
(1) 現金及び預金	880,207
(2) 未収金及び未収収益	226,832
(3) 貸倒引当金()	691
(4) 貯蔵品	11,399
3 繰延資産	-
負債合計	252,987
1 固定負債	10,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	10,309
2 流動負債	176,761
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,197
(6) リース債務	2,748
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,148
(9) 前受金及び前受収益	102
3 繰延収益	65,917
(1) 長期前受金	253,532
(2) 長期前受金収益化累計額()	187,615
資本合計	1,977,046
1 資本金	4,624,378
2 剰余金	-2,647,332
(1) 資本剰余金	711,091
(2) 利益剰余金	-3,358,423
負債・資本合計	2,230,033
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	97,440	97,320
資本勘定繰入	9,273	18,405
計	106,713	115,725

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	208.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	魚沼市
	病院名	堀之内病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	80.7	87.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	80.7	87.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	37,352	
決算規模(千円)	27,521,013	
標準財政規模(千円)	16,063,360	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	34.0

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	156,217			
1 経常収益	6,552			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,552			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,516			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	149,665			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	643,352			
2 経常費用	6,516			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	79.3
材料費	-	-	24.0	16.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.0
減価償却費	-	-	9.2	13.7
経費	-	-	23.2	42.9
(うち委託料)	-	-	11.2	16.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,516			
(うち支払利息)	6,516	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	636,836			
損益				
経常損益	36			
純損益	-487,135			
累積欠損金	1,041,447			
経常収支比率	100.6		98.0	95.6
医業収支比率	-		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	99.5		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	0.6		85.9	63.7

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,344	6,516
資本勘定繰入	22,272	33,408
計	26,616	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3499.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	魚沼市
	病院名	小出病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	14,375 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	90	93.4	91.2	88.0
療養	44	77.6	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	88.2	91.2	88.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	18.8	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	37,352	
決算規模(千円)	27,521,013	
標準財政規模(千円)	16,063,360	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	34.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	849,299			
1 経常収益	784,650			
(1) 医業収益	41,385			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	41,385			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	743,265			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	455,727			
(うち長期前受金戻入)	287,374			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	64,649			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	805,629			
2 経常費用	805,602			
(1) 医業費用	790,990			
職員給与費	4,727	11.4	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	347,739	840.3	9.2	10.4
経費	438,524	1059.6	23.2	31.2
(うち委託料)	215	0.5	11.2	12.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,612			
(うち支払利息)	14,612	35.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	27			
損益				
経常損益	-20,952			
純損益	43,670			
累積欠損金	406,614			
経常収支比率	97.4		98.0	96.3
医業収支比率	5.2		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	63.4		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	1201.2		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	58.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	35.7		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,736,441
1 固定資産	5,413,417
(1) 有形固定資産	5,413,417
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	323,024
(1) 現金及び預金	253,700
(2) 未収金及び未収収益	69,696
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,029,796
1 固定負債	4,452,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,452,110
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	377,582
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	285,718
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	394
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	91,470
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,200,104
(1) 長期前受金	1,544,238
(2) 長期前受金収益化累計額()	344,134
資本合計	-293,355
1 資本金	1,140,575
2 剰余金	-1,433,930
(1) 資本剰余金	14,131
(2) 利益剰余金	-1,448,061
負債・資本合計	5,736,441
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	293,355
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	496,647	497,112
資本勘定繰入	200,230	339,310
計	696,877	836,422

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3499.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	南魚沼市
	病院名	ゆきぐに大和病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	45	89.9	88.2	72.7
療養	-	-	-	73.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	89.9	88.2	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	20.5	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	58,568	
決算規模(千円)	32,520,880	
標準財政規模(千円)	19,741,592	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	132.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,121 m ²	指定病院の状況	救 へ
診療科数	10	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.1
修正医業収支金額(千円)	1,002,005

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,453,964			
1 経常収益	1,264,852			
(1) 医業収益	1,038,299			
入院収益	366,646			
外来収益	326,958			
診療収入計	693,604			
その他医業収益	344,695			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	226,553			
(うち国・都道府県補助金)	2,198			
(うち他会計補助・負担金)	171,052			
(うち長期前受金戻入)	7,217			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	189,112			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,241,193			
2 経常費用	1,241,193			
(1) 医業費用	1,220,096			
職員給与費	552,385	53.2	55.9	79.3
材料費	95,438	9.2	24.0	16.1
(うち薬品費)	38,921	3.7	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,458	5.4	11.1	5.0
減価償却費	82,132	7.9	9.2	13.7
経費	477,892	46.0	23.2	42.9
(うち委託料)	139,479	13.4	11.2	16.0
研究研修費	1,916			
資産減耗費	10,333			
(2) 医業外費用	21,097			
(うち支払利息)	8,409	0.8	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	23,659			
純損益	212,771			
累積欠損金	1,842,344			
経常収支比率	101.9		98.0	95.6
医業収支比率	85.1		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	20.0		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	85.2		85.9	63.7

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,472,900
1 固定資産	8,118,279
(1) 有形固定資産	8,116,641
(2) 無形固定資産	1,638
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,354,621
(1) 現金及び預金	439,979
(2) 未収金及び未収収益	837,771
(3) 貸倒引当金()	11,219
(4) 貯蔵品	87,051
3 繰延資産	-
負債合計	7,624,441
1 固定負債	5,294,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,087,687
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,726,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	475,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,231
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	316,164
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	604,277
(1) 長期前受金	1,314,606
(2) 長期前受金収益化累計額()	710,329
資本合計	1,848,459
1 資本金	4,752,950
2 剰余金	-2,904,491
(1) 資本金剰余金	20,791
(2) 利益剰余金	-2,925,282
負債・資本合計	9,472,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,346	207,346
資本勘定繰入	50,120	50,120
計	257,466	257,466

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	212,574	5.2
27年度	20,677	0.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	南魚沼市
				病院名	南魚沼市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,890 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	25	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	140	86.7	86.6	76.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	86.7	86.6	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	18.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	58,568	
決算規模(千円)	32,520,880	
標準財政規模(千円)	19,741,592	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	132.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.9
修正医業収支金額(千円)	3,187,806

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,788,411			
1 経常収益	3,767,037			
(1) 医業収益	3,242,323			
入院収益	1,622,716			
外来収益	1,462,982			
診療収入計	3,085,698			
その他医業収益	156,625			
(うち他会計負担金)	54,517			
(2) 医業外収益	524,714			
(うち国・都道府県補助金)	3,308			
(うち他会計補助・負担金)	420,046			
(うち長期前受金戻入)	30,674			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,374			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,188,807			
2 経常費用	4,188,807			
(1) 医業費用	4,039,878			
職員給与費	1,705,775	52.6	55.9	59.8
材料費	711,424	21.9	24.0	17.7
(うち薬品費)	397,806	12.3	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	313,190	9.7	11.1	8.0
減価償却費	534,647	16.5	9.2	10.4
経費	1,066,978	32.9	23.2	31.2
(うち委託料)	337,471	10.4	11.2	12.8
研究研修費	17,350			
資産減耗費	3,704			
(2) 医業外費用	148,929			
(うち支払利息)	16,065	0.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-421,770			
純損益	-400,396			
累積欠損金	1,082,938			
経常収支比率	89.9		98.0	96.3
医業収支比率	80.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	78.6		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,472,900
1 固定資産	8,118,279
(1) 有形固定資産	8,116,641
(2) 無形固定資産	1,638
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,354,621
(1) 現金及び預金	439,979
(2) 未収金及び未収収益	837,771
(3) 貸倒引当金()	11,219
(4) 貯蔵品	87,051
3 繰延資産	-
負債合計	7,624,441
1 固定負債	5,294,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,087,687
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,726,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	475,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,231
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	316,164
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	604,277
(1) 長期前受金	1,314,606
(2) 長期前受金収益化累計額()	710,329
資本合計	1,848,459
1 資本金	4,752,950
2 剰余金	-2,904,491
(1) 資本金剰余金	20,791
(2) 利益剰余金	-2,925,282
負債・資本合計	9,472,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	463,763	474,563
資本勘定繰入	220,057	220,057
計	683,820	694,620

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	212,574	5.2
27年度	20,677	0.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	湯沢町
	病院名	湯沢病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	40	62.6	64.6	65.1
療養	50	82.6	80.0	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	73.7	73.2	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	15.3	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	8,046	
決算規模(千円)	6,477,058	
標準財政規模(千円)	4,048,702	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	34.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	10,090 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	280,652			
1 経常収益	263,019			
(1) 医業収益	44,227			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	44,227			
(うち他会計負担金)	44,227			
(2) 医業外収益	218,792			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	147,928			
(うち長期前受金戻入)	70,489			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,633			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	281,499			
2 経常費用	281,499			
(1) 医業費用	271,067			
職員給与費	5,245	11.9	55.9	69.4
材料費	-	-	24.0	17.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.8
減価償却費	119,738	270.7	9.2	11.6
経費	144,615	327.0	23.2	31.2
(うち委託料)	5,016	11.3	11.2	12.1
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,469	-	-	-
(2) 医業外費用	10,432			
(うち支払利息)	4,201	9.5	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-18,480			
純損益	-847			
累積欠損金	606,291			
経常収支比率	93.4		98.0	98.0
医業収支比率	16.3		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	73.1		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	434.5		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	68.5		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	25.2		85.9	75.8

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,696,344
1 固定資産	2,416,965
(1) 有形固定資産	2,416,965
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	248,354
(1) 現金及び預金	248,354
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	31,025
負債合計	862,055
1 固定負債	217,023
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	217,023
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	43,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,385
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	429
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,433
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	601,785
(1) 長期前受金	1,577,827
(2) 長期前受金収益化累計額()	976,042
資本合計	1,834,289
1 資本金	2,080,301
2 剰余金	-246,012
(1) 資本金剰余金	360,279
(2) 利益剰余金	-606,291
負債・資本合計	2,696,344
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,390	192,155
資本勘定繰入	19,686	35,372
計	197,076	227,527

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1370.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	津南町
				病院名	津南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,163 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	62	52.4	55.9	55.9
療養	52	-	-	43.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	114	52.4	55.9	50.7
平均在院日数（一般病床のみ）		18.4	18.2	17.3

設立団体の状況		
人口（人）	10,029	
決算規模（千円）	7,486,389	
標準財政規模（千円）	4,399,479	
財政力指数	0.26	
経常収支比率（%）	80.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.3
	将来負担比率（%）	86.2

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,623,995			
1 経常収益	1,623,752			
(1) 医業収益	1,146,710			
入院収益	313,759			
外来収益	728,996			
診療収入計	1,042,755			
その他医業収益	103,955			
(うち他会計負担金)	34,210			
(2) 医業外収益	477,042			
(うち国・都道府県補助金)	270			
(うち他会計補助・負担金)	473,336			
(うち長期前受金戻入)	499			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	243			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,621,275			
2 経常費用	1,621,165			
(1) 医業費用	1,565,035			
職員給与費	771,970	67.3	55.9	59.8
材料費	432,155	37.7	24.0	17.7
(うち薬品費)	374,284	32.6	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,828	4.3	11.1	8.0
減価償却費	67,504	5.9	9.2	10.4
経費	291,184	25.4	23.2	31.2
(うち委託料)	106,173	9.3	11.2	12.8
研究研修費	2,049			
資産減耗費	173			
(2) 医業外費用	56,130			
(うち支払利息)	4,092	0.4	1.7	1.8
(3) 特別損失	110			
損益				
経常損益	2,587			
純損益	2,720			
累積欠損金	1,135,167			
経常収支比率	100.2		98.0	96.3
医業収支比率	73.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.3		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	44.3		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	31.3		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	68.9		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	851,561
1 固定資産	603,571
(1) 有形固定資産	603,571
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	247,990
(1) 現金及び預金	60,811
(2) 未収金及び未収収益	167,020
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	20,105
3 繰延資産	-
負債合計	321,616
1 固定負債	119,573
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,887
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	49,686
2 流動負債	189,773
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,399
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,883
(6) リース債務	22,596
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	119,330
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,270
(1) 長期前受金	22,298
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	10,028
資本合計	529,945
1 資本金	1,665,112
2 剰余金	-1,135,167
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,135,167
負債・資本合計	851,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	71.1
修正医業収支金額（千円）	1,112,500

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,744	507,546
資本勘定繰入	40,842	40,842
計	193,586	548,388

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	99.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	さくら福祉保健事務組合
	病院名	南部郷厚生病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,959 m ²	指定病院の状況	
診療科数	6	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	70	72.5	74.6	71.6
療養	50	58.5	68.8	72.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	66.7	72.2	71.9
平均在院日数(一般病床のみ)		156.7	92.1	128.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	400,048	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	124.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	103.4
修正医業収支金額(千円)	200,196

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	229,220			
1 経常収益	229,220			
(1) 医業収益	200,196			
入院収益	98,676			
外来収益	77,008			
診療収入計	175,684			
その他医業収益	24,512			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29,024			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	24,510			
(うち長期前受金戻入)	900			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	226,694			
2 経常費用	226,694			
(1) 医業費用	193,570			
職員給与費	8,114	4.1	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	107,712	53.8	9.2	10.4
経費	77,542	38.7	23.2	31.2
(うち委託料)	49,265	24.6	11.2	12.8
研究研修費	-			
資産減耗費	202			
(2) 医業外費用	33,124			
(うち支払利息)	32,514	16.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	2,526			
純損益	2,526			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		98.0	96.3
医業収支比率	103.4		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	90.3		85.9	81.0

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,316,164
1 固定資産	1,758,733
(1) 有形固定資産	1,758,733
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	557,431
(1) 現金及び預金	516,334
(2) 未収金及び未収収益	41,155
(3) 貸倒引当金()	58
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,578,576
1 固定負債	1,389,694
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,389,694
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	158,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	149,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	712
(6) リース債務	487
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,117
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	30,756
(1) 長期前受金	49,504
(2) 長期前受金収益化累計額()	18,748
資本合計	737,588
1 資本金	730,890
2 剰余金	6,698
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	6,698
負債・資本合計	2,316,164
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	21,093	24,510
資本勘定繰入	90,011	47,233
計	111,104	71,743

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。